エチル＝３－フェニルカルバモイルオキシカルバニラート（別名デスメディファム）	0.085mg／１	（新規）
５－メチル－1，２，４－トリアゾロ［３，４－b］［１，３］ベンゾチアゾール（別名トリシクラゾール）	0.1mg／１	（新規）
３，４－ジヒドロ－２，４－ジオキソ－１－（ピリミジン－５－イルメチル）－３－（α，α，α－トリフルオロ－*m*－トリル）－２*H*－ピリド［１，２－*a*］ピリミジン－１－イウム－３－イド（別名トリフルメゾピリム）	0.085mg／１	（新規）
S－１，２－ビス（エトキシカルボニル）エチル＝*O*，*O*－ジメチル＝ホスホロジチオアート（別名マラチオン又はマラソン）	0.77mg／１	（新規）
１，１－ジメチルピペリジニウム＝クロリド（別名メピコートクロリド）	0.79mg／１	（新規）

官　庁　報　告

財　　政

総務省設置法（平成十一年法律第九十一号）第九条第三項の規定に基づき、地方財政審議会から、次のとおり誰もが希望を持てる地域社会に向けた地方税財政改革についての意見の提出があったので、公表する。

平成三十年六月二十六日　　総務大臣　野田　聖子

誰もが希望を持てる地域社会に向けた地方税財政改革についての意見

平成30年５月25日
地方財政審議会

当審議会は、誰もが希望を持てる地域社会に向けた地方税財政改革について検討した結果、次のとおり結論を得たので、総務省設置法第９条第３項の規定により意見を申し述べる。

はじめに　～少子高齢化・人口減少を乗り越え持続可能な地域社会を～

少子高齢化、そして人口減少。

我が国は今、未曾有の危機に直面している。

直近の将来推計[1]によれば、2040年頃には、人口が毎年90万人程度減少し、総人口が約１億１千万人となることが見込まれるとともに、大都市圏を中心に高齢化が急速に進み、高齢者人口がピークを迎えるという。

自分たちの、そして子や孫の暮らしはどうなるのか。誰もが将来に不安を感じ、未来に希望を持つことが難しい時代となっている。

地域の人々の安心・安全を確保し、暮らしを守る。それは、住民に最も身近な地方自治体に与えられた使命である。これまで、時代の流れとともに社会構造や経済情勢が大きく変化し、また、大規模な災害等が発生する中でも、まさに地方自治体が、最前線で地域の人々の生活を支えてきた。今、直面する少子高齢化・人口減少という危機にも、落ち着いて対応し、人々の生活を支える様々な行政サービスを、持続可能な形で提供していくことが求められている。

ただ、それは容易な道ではない。そのためには、個性と活力ある地域経済を実現するとともに、多様な行政サービスを地域の実情に応じて提供するために必要な、確固とした地方税財政の基盤を確立していくことが不可欠である。

昨年、日本国憲法と地方自治法が施行後70年を迎えたのに続き、本年は、財政運営の基本原則を定めた地方財政法が施行されてから70年を迎える。この間、戦後の激動を乗り越えながら、地方自治体の自治権の拡充・強化とともに、財政の自主性と健全性を確保し、どの地域であっても人々が安心して暮らせるようにするための取組が続けられてきた。それによって我が国の今があると言っても過言ではない。こうした先達たちの努力に今一度思いを馳せつつ、平成に続く時代に向け、この危機を克服し、若者をはじめ、あらゆる人々が希望を持てる未来を切り拓いていかなければならない。

近く、政府は「経済財政運営と改革の基本方針」の中で、国・地方を合わせたプライマリーバランス黒字化の達成時期等を含む新たな財政健全化のための計画を策定することとしており、地方財政についても議論が行われている。

こうした状況に鑑み、当審議会は、目指すべき地域の姿と地方財政の姿を掲げた上で、誰もが希望を持てる地域社会に向けた地方税財政改革に対する考え方を示すこととした。

第一　目指すべき地域の姿と地方財政の姿

１．目指すべき地域の姿　～住民の安心と安全の確保・賑わいの創出～

どのような地域であっても、どの時代に生まれても、住民に安心と安全、そして、満足度を高めて幸せをもたらす。それが目指すべき地域の姿である。

現在、国と地方を通じた歳出のうち、社会保障、教育、社会資本整備等、住民に身近な行政サービスに関連する経費の多くは、地方自治体を通じて支出されており、まさに地方自治体が住民への行政サービスの根幹を担っている（資料１）。

一方で、今後、人口減少が深刻化するとともに、大都市圏を中心に高齢化が急速に進み、2040年頃には高齢者人口がピークを迎えるなど人口構造の大きな変化が見込まれる中で、中長期的な視点に立って、行政のあり方も見直しつつ、住民サービスの持続可能性を確保するための体制を構築していくことも求められる。